

## 令和3年度第3回 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和3年9月30日(木) 午前10時00分～11時35分

2 開催方法 Zoom を活用したオンライン開催

### 3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	金森 勇人
	中区社会福祉課	飯塚 康敬
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	東区社会福祉課	久野 加津夫
西・南エリア連絡会	西・南障がい者相談支援センター	後藤 翔一朗
	西区社会福祉課	宮本 明浩
	南区社会福祉課	内藤 淳
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	本宮 早奈映
	北区社会福祉課	梶田 和彦
浜北・天竜エリア連絡会	浜北・天竜障がい者相談支援センター	今田 将晴
	浜北区社会福祉課	島田 佐栄実
	相談支援事業所シグナル	尾関 ゆかり
		阿部 祥美
事務局	障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛
		山下 由佳
		玉澤 卓也
		岸 直樹
		永田 貴裕
障害保健福祉課	生活・就労支援グループ	柴田 多美子
		山内 愛美

#### 4 議事内容

##### (1) 専門部会報告

- ・虐待対応ワーキング
- ・こどもワーキング

##### (2) 地域体制強化共同支援について

##### (3) 日中サービス支援型グループホームの評価について

#### 5 会議録作成者 障害保健福祉課生活・就労支援グループ 山内

#### 6 記録の方法 発言者の要点記録

録音の有無 無

#### 7 会議記録

##### (1) 専門部会報告

###### ○虐待対応ワーキング

ワーキングメンバーより報告

- ・8月26日（浜北・天竜エリアは9月10日、27日）に研修会を開催
- ・Q&Aを手引き別冊の位置づけとして作成。今後のワーキングにて内容を精査し、なるべく早い段階で各区へ提供していく予定。

<意見>

- ・虐待対応はケースバイケースなので、各機関に相談しながら対応している。
- ・一次コア会議開催の意味など、関係者によって認識のズレがあるため、すり合わせが必要と感じる。
- ・虐待対応に関して、障害保健福祉課との温度差があると感じる。区としてどこまでやってくのが明確化されていないため、すり合わせが必要。
- ・今後、ケース対応をしていく中でそれぞれの区で独自に対応することができてしまい、手引書とのズレが出てしまうことが心配。
- ・初期対応は、情報がない中で判断等、スピード感を大切にして対応していくことが難しい。それぞれの役割でどこまでやればいいのか戸惑う。
- ・組織的な判断決定が必要とされる中、区の課長や課長補佐に手引書の内容や区の役割等を理解してもらうことが重要。
- ・時間外の対応では、コア会議の開催など、手引書通りの丁寧な対応が難しい。緊急時は行政側で対応、判断をせざるを得ないのではないかな。
- ・緊急時対応後の日常的な支援については、どのように委託相談に引き継いでいくのがポイントではないかな。
- ・他区と事例の共有ができる仕組みがあると良い。

## ○こどもワーキング

### ワーキングメンバーより説明

- ・ 9月28日にアップデートしたアセスメントツールに関して研修会開催
- ・ アップデート内容：チェックボックスを作成、不要な項目削除、強みの記載欄作成、子どもや養育者の見立て欄の追加、チェックポイント一部追加、等。
- ・ 何度も使用することでスキルアップにつながることから、連絡会活動において活用を進めてほしい。
- ・ ワーキングにおいて子どもの支援体制づくりをしていくためにツール周知や活用の検討の検討を行い、2月の全体会で報告予定。

## (2) 地域体制強化共同支援加算について

資料を元に、浜北・天竜エリア連絡会より報告

### 事例1 生活介護事業所の不足、利用を希望する利用者に対して受け皿の不足

共同支援会議において、肢体不自由児（医ケア児含む）進路について現状を把握し、地域の課題について共有、今後の卒業生を見込みながら、関係者と継続的に協議する場を設けることについて意見がまとまり、部会として活動中。

### 事例2 水窪における共生型ショートステイへの対応

特別養護老人ホームの指定申請に向けての説明や先行して特別養護老人ホームのショートステイで障がい者を受け入れている施設等との意見交換会を実施。本ケース以外にも強制方ショートステイのニーズがないかを確認していく予定。

### <意見>

#### 事例2

- ・ 共同支援会議には、長寿保険課にも参加してもらい、現状把握ができると良かったのではないかと。
- ・ 住み慣れた地域でサービスを利用することは大切なことであるため、今回の取り組みをモデルとして参考にしたい。
- ・ 事業所側から障害特性の理解について不安が聞かれているが、勉強会等の予定はあるか。  
→（浜北・天竜エリア連絡会より）現在は未定。
- ・ ノウハウの共有のためにも、今後の取り組みについても企画会議で報告してほしい。

#### 共同支援会議について

- ・ 地域課題について相談支援専門員がエリア連絡会を活用する認識がないので、現状では委託相談や基幹相談による声掛けが必要。
- ・ 現在利用できるものの中からサービス選択をするのではなく、本人の意向を確認して本人が希望するサービスが受けられるよう、体制整備を考えられるようになると良い。

### (3) 日中サービス支援型グループホームの評価について

中エリア連絡会より報告

- ・ 障害保健福祉課作成資料を元にエリア全体会構成員へ説明を実施。事業所への希望や願いだけでなく、地域の社会資源を育てる、お互いを知ることが一番の目的であることを説明した。導入部分で意見交換の目的をきちんと説明しておくことが重要ではないか。
- ・ 色々な意見が出ることを想定し、事務局側も目的について共通認識を持っておくことが大切。
- ・ 評価・助言だからといって、できていることやできていないことのみを見るのではなく、毎年継続していく中で事業所の次年度の取り組みについて積み上げをしていくものであることを事務局側が理解しておくことが大切ではないか。
- ・ 今回、意見交換の内容は非公開の扱いだったが、公開としても問題ないのではないか。

<意見>

- ・ 原則非公開ということだが、全構成員向けのネットワーク会議における報告は可能か。グループホーム担当者も施設のことを知ってほしい、誤解を解きたいとの希望があり、齟齬やギャップは解消していきたいと考えている。それもエリア連絡会の役割でもあるため、次年度以降の公開・非公開の対応は検討してほしい。  
→ (事務局) 今年度の状況で対応について検討する。

次回企画会議：11月25日(木) 10時～ 32会議室